

高津川水系流域治水プロジェクトの取り組み

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策（ソフト対策）

流域治水プロジェクトとは、河川管理者のみならず流域内のあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害の軽減に取り組んでいる治水対策です。

この流域治水プロジェクトのうち、被害軽減のための取り組み（防災教育などのソフト対策）について、実施状況の一部を紹介します。

「吉田地区マイ・タイムライン講習会」を実施しました

令和3年12月5日（日）に益田市市民学習センターにおいて、吉田地区防災協議会と浜田河川事務所の共催で、マイ・タイムラインに関する講習会を実施しました。講習会には、吉田地区の自治会長や防災リーダーなど約30名の方が参加されました。

講習会の説明資料

■防災情報の入手方法

PC・スマホを使う方は



- ・市町ホームページ
- ・市町防災メール
- ・気象庁、地方気象台
- ・国土交通省（川の防災情報）

テレビ・ケーブルテレビ



NHKデータ放送
(dボタン)
ケーブルテレビ

防災行政無線

講習会の状況



「高津川左岸流域治水事業ワークショップ」を開催しました

令和3年11月2日（火）に高津公民館において、益田市と浜田河川国道事務所の共催で、防災知識の向上のためのワークショップを開催しました。ワークショップには高津地区の住民など12名が参加されました。

次回は令和4年1月18日（火）に開催し、緊急避難場所の整備に関してご意見をいただく予定です。

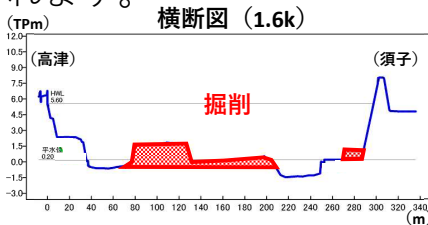
ワークショップの状況



浜田河川国道事務所では、防災教育のための出前講座を実施しています。ご希望のある団体はご相談ください。

工事実施状況 ※ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

現在、高津川の下流部では河川の断面積を増やすための工事（掘削工事）を実施しています。12月より本格的に中洲の掘削を開始しました。掘削した区間では、洪水時に最大で約0.3m（1.6k付近推定値）の水位低下が見込まれます。



ナガタの瀬（アユ産卵場）を改善しました

ナガタの瀬は、高津川の代表的なアユの産卵場ですが、洪水による土砂の堆積などにより環境が大きく変化していました。そのため、高津川漁協と水産技術センターの方々に意見をもらい、瀬の改善を行いました。

高津川では、河川環境に関するモニタリングを実施しています。今回の改善における効果についても、引き続きモニタリングを実施していきます。



活動団体紹介 [高橋建設(株)] ^{えん}（水辺EN組：2団体／4団体）

平成22年2月より益田市高津町及び須子町内の高津川河川敷地の清掃活動をされています。毎年2回（春と秋）会社内の有志の方々において、空き缶、ペットボトル等のゴミの収集をさせていただいています。



問い合わせ先：〒698-0041 益田市高津1丁目6-1

国土交通省 浜田河川国道事務所 高津川出張所（TEL：0856-22-0533）

※ 当該号、バックナンバーはこちらから

(<http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/takatugawadayori/index.html>)